

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究科 |
|--------|----------|

| | |
|------|-------|
| 基準 1 | 理念・目的 |
|------|-------|

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|--|---|------|
| 0101 | 大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。 | (2) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。 | A |
| | | (3) 学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。 | A |
| | | (4) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、関連性があるものになっていますか。 | A |
| 0102 | 大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則またはこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。 | (1) 学部(学科)・研究科(専攻)の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧とホームページなど)との記述の齟齬 | B |
| | | (2) 教職員、学生、社会に対する刊行物、ホームページ等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知 | A |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|--|---|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。 | |
| 0101 | 毎年度末前に各専攻主任が研究科の目的[0101a][0101b][0101c]を確認している。 |
| 0102 | 毎年度末前に学生便覧[0102a][0102b]の内容を各専攻主任が確認している。 |
| 長所・特色 << 箇条書き >> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0102 | 大学のホームページ上にある「情報公開」で、経営情報学研究科に関する様々な情報を公開している。 |
| 項目 No. | |

| 課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点 | |
|----------------------------|---|
| 項目 No. 0101 | 専攻主任のみの確認、検証は実施しているが、他の役職者も確認する体制を構築する。 |
| 項目 No. 0102 | 専攻主任のみの確認、検証は実施しているが、他の役職者も確認する体制を構築する。 |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない | |
|--|------------------------------------|
| 0101 | 大学本部で確認がなされており、研究科では専攻主任のみが検証している。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む） |
|--------|---|
| 0102 | 各専攻主任に内容の点検は任されているが、主任会議で報告し、主任会議のメンバーで再確認する制度化を図る。 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|----------------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0101 | a | 2017 年度大学院学生便覧（当該箇所 ii～iii） | A |
| 0101 | b | 2018 年度大学院学生便覧（当該箇所 ii～iii） | A |
| 0101 | c | 中部大学ビジネススクール MBA 経営学専攻修士課程パンフレット | A |
| 0102 | a | 2017 年度大学院学生便覧（当該箇所 p. 25-38） | A |
| 0102 | b | 2018 年度大学院学生便覧（当該箇所 p. 27-40） | A |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究科 |
|--------|----------|

基準 2 内部質保証

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|-------------------------------------|---------------------------------------|------|
| 0203 | 方針および手続きに基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。 | (4)外部評価（学内内部評価を含む）を自己点検・評価に取り入れていますか。 | C |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|--|--|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 0203 本学では持続的な改善向上（質保証）[0203a]を目指すために、大学全体としての自己点検・評価、各組織、部署における自己点検・評価を行っており、その方針に基づき、本研究科においても主任会議メンバーが自己点検・評価[0203b][0203c][0203d][0203e][0203f][0203g]を行っている。 | |
| 長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0203 | 経営情報学部独自の評価シート[0203b][0203e]による評価。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0203 | 教員活動重点目標・自己評価シート[0203c][0203f]、教員活動重点目標・自己評価シート（教員活動報告自己申告書）[0203d][0203g]に重複項目があり、整理する必要がある。また、学部評価シートの評価項目との統一性を持つようにすべきである。 |
| 項目 No. | |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| | |
|--|-------------------------------|
| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない | |
| 0203 | 経営情報学部評価シート[0203b][0203e]の作成。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） |
|--------|--|
| 0203 | 教員活動重点目標・自己評価シート[0203c][0203f]、教員活動重点目標・自己評価シート（教員活動報告自己申告書）[0203d][0203g]、学部評価シート[0203b][0203e]の評価項目との統一性を図る。 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|--|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0203 | a | 中部大学の内部質保証(HP 情報公表) https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/know/quality_assurance/ | A |
| 0203 | b | 2017 年度経営情報学部評価シート | A |
| 0203 | c | 2017 年度教員活動重点目標・自己評価シート | A |
| 0203 | d | 2017 年度教員活動重点目標・自己評価シート（教員活動報告自己申告書） | A |
| 0203 | e | 2018 年度経営情報学部評価シート | A |
| 0203 | f | 2018 年度教員活動重点目標・自己評価シート | A |
| 0203 | g | 2018 年度教員活動重点目標・自己評価シート（教員活動報告自己申告書） | A |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究所 |
|--------|----------|

基準 4 教育課程・学習成果（1）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|---|--|------|
| 0401 | 授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針（DP）を定めて、公表していますか。 | (1) 課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針（DP）の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・卒業認定・学位授与方針（DP）の設定 | A |
| 0402 | 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を定めて、公表していますか。 | (1) 学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。 | A |
| | | (2) 学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。 | A |
| | | (3) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を社会に対し、公表していますか。 | A |
| | | (4) 卒業認定・学位授与の方針（DP）と教育課程編成・実施の方針（CP）は適切な連関性となっていますか。 ・「卒業認定・学位授与の方針（DP）」⇔「教育課程の編成・実施方針（CP）」との整合 | A |
| 0403 | 教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。 | (1) 教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程の整合性はとれていますか。 | A |
| | | (2) 教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。（ナンバリング、カリキュラムマップ） | A |
| | | (3) 単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。 | A |
| | | (4) 個々の授業科目の内容および方法は適していますか。 | C |
| | | (5) 授業科目の位置づけ（必修、選択等）は適切ですか。 | A |

| | | | |
|------|---|--|---|
| 0403 | 教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。 | (6) 各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等 | A |
| | | (7) 学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。 | A |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|--|---|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 0401 | 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を定め、大学院経営情報学研究科の学生便覧[0401a][0401b]に規定されており、教務支援課からの依頼で、各専攻主任が検証を実施している。また、本学ホームページ[0401c][0401d]でも公表している。 |
| 0402 | 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を、大学院経営情報学研究科の学生便覧[0402a][0402b]で公表している。また、本学ホームページ[0402c][0402d]でも公表している。 |
| 0403 | 教育課程の編成・実施方針（CP）を、大学院経営情報学研究科の学生便覧[0403a][0403b]で公表している。 |
| 長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0403 | 科目編成については、各科目群の位置づけを明確にしている。また、科目の基礎と応用が連続している科目については科目名Ⅰ、Ⅱを明記し、科目Ⅰを履修しないと科目Ⅱが履修できない体制をとり、明記している[0403a][0403b]。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0403 | 個々の授業科目の内容および方法が適しているかの検証ができる体制を構築する。 |
| 項目 No. | |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| | |
|--|---|
| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない | |
| 0403 | 個々の授業科目の内容および方法が適しているかの検証ができる体制は構築できていない。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） |
|--------|--|
| 0403 | 個々の授業科目の内容および方法が適しているかの検証ができる検討委員会の立ち上げ。 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|--|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0401 | a | 2017 年度大学院学生便覧（当該箇所 p. 25-38） | A |
| 0401 | b | 2018 年度大学院学生便覧（当該箇所 p. 27-40） | A |
| 0401 | c | 3つのポリシー 大学院経営情報学研究科 経営情報学専攻 ディプロマポリシー (DP) 大学 HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_graduate_information_science/ | A |
| 0401 | d | 3つのポリシー 大学院経営情報学研究科 経営学専攻 ディプロマポリシー (DP) 大学 HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_graduate_management/ | A |
| 0402 | a | 2017 年度大学院学生便覧（当該箇所 p. 29-34） | A |
| 0402 | b | 2018 年度大学院学生便覧（当該箇所 p. 31-36） | A |
| 0402 | c | 3つのポリシー 大学院経営情報学研究科 経営情報学専攻 カリキュラムポリシー (CP) 大学 HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_graduate_information_science/ | A |
| 0402 | d | 3つのポリシー 大学院経営情報学研究科 経営情報学専攻 カリキュラムポリシー (CP) 大学 HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_graduate_information_science/ | A |
| 0403 | a | 2017 年度大学院学生便覧（当該箇所 p. 35-38） | A |
| 0403 | b | 2018 年度大学院学生便覧（当該箇所 p. 37-40） | A |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学研究科

基準 4 教育課程・学習成果（2）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|---------------------------------------|--|------|
| 0404 | 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。 | (1) 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間または学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。 | — |
| | | (2) シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行われていますか。 ・ 授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・ 授業内容とシラバスとの整合性の確保 | A |
| | | (3) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法を講じていますか。 | A |
| | | (4) 授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・ 授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・ 履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・ 研究指導計画(研究指導の内容および方法、年間スケジュール)を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。 | A |
| 0405 | 成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。 | (1) シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・ シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価 | A |
| | | (2) 既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・ 規程等に基づく単位認定のプロセス | A |
| | | (3) 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。 | D |

| | | | |
|------|------------------------------|---|---|
| 0405 | 成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。 | (4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。 | A |
| | | (5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。 | A |
| | | (6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。 | A |
| | | (7) 学位授与に係る責任体制および手続は明確に示されていますか。 | A |
| | | (8) 適切な学位授与を行っていますか。 | A |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|--|---|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 0404 | <p>大学院の場合、特に履修登録単位数の上限設定の必要性は感じていない。シラバスの内容に関しては、第三者である各専攻主任により点検されている。</p> <p>オリエンテーション時に年間スケジュール[0404a][0404b]を配布し、これに基づいて指導している。</p> <p>博士前期課程1年は「前期課程履修計画表」[0404c]、前期課程2年は「2年修士論文研究中間報告書」[0404d]を作成し提出させることで、当該年度内の研究進捗状況を把握し、適切な指導を行っている。</p> <p>博士後期課程1年は「後期課程履修計画表」[0404e]、「1年次博士論文研究計画書」[0404f]、博士後期課程2年は、「2年次博士論文研究計画書」[0404g]を作成し、提出させることで、当該年度内の研究進捗状況を把握し、適切な指導を行っている。</p> <p>修士課程2年は「修士論文研究計画書」[0404h]を作成し提出させ、当該年度内の研究進捗状況を把握し、適切な指導を行っている。</p> |
| 0405 | <p>学部から博士前期課程、修士課程への進学希望者が、大学院科目を履修した際の単位認定[0405a]を規定している。また、経営情報学研究科、工学研究科、応用生物学研究科で行っている、ジョイント・ディグリー・プログラム制度[0405b][0405c]において、修士課程の単位認定も規定している。</p> <p>修了要件、ならびに学位論文の審査基準を定めて、学生便覧[0405d][0405e]に記載している。</p> <p>学位論文の審査に当たっては修士論文、博士論文共に研究科の規定に則り、学位請求論文の審査委員会を設置し、公聴会、発表会の結果も踏まえ、審議した結果を審査報告書として取りまとめ、主任会議で確認の後、研究科委員会において審議して適切に学位授与を行っている。</p> |
| 長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0405 | 3年間で2つの修士の学位が取得でき、さらに、社会人学生と授業での交流ができるジョイント・ディグリーを設定している[0405a][0405b][0405c]。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0405 | 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認する体制を構築する必要がある。 |
| 項目 No. | |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| | |
|------------|---|
| 対象年度における取組 | *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない |
| 0405 | 特に2017年度、2018年度で取り組みはしていない。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） |
|--------|---|
| 0405 | 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認する研究科長、各専攻主任、事務長をメンバーとする会議の設定と、会議の定期的な開催の検討。 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|--|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0404 | a | 2017年度経営情報学研究科主な年間スケジュール | A |
| 0404 | b | 2018年度経営情報学研究科主な年間スケジュール | A |
| 0404 | c | 前期課程履修計画表 | A |
| 0404 | d | 2年次修士論文研究中間報告書 | A |
| 0404 | e | 後期課程履修計画表 | A |
| 0404 | f | 1年次博士論文研究計画書 | A |
| 0404 | g | 2年次博士論文研究計画書 | A |
| 0404 | h | 修士論文研究計画書 | A |
| 0405 | a | 大学院科目等履修生制度に関する経営情報学部・経営情報学研究科の内規 | B |
| 0405 | b | 2017年度大学院学生便覧ジョイント・ディグリー・プログラム制度(当該箇所 pp. 107) | A |
| 0405 | c | 2018年度大学院学生便覧ジョイント・ディグリー・プログラム制度(当該箇所 pp. 109) | A |
| 0405 | d | 2017年度大学院学生便覧(当該箇所 p. 30-34) | A |
| 0405 | e | 2018年度大学院学生便覧(当該箇所 p. 32-36) | A |

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究科 |
|--------|----------|

基準 4 教育課程・学習成果（3）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|---|---|------|
| 0406 | 卒業認定・学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。 | (1) 学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標 | B |
| | | (2) 成績分布、試験放棄（登録と受験の差）、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有 | A |
| | | (3) 学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ループリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取 | B |
| 0407 | 教育課程およびその内容、方法の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。 | (1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用 | B |
| | | (2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上に取り組んでいますか。 ・年度重点目標の設定 | B |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| |
|--|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 |
| 0406 授業の Semester 終了時に、学生アンケート[0406a]を実施し、学生にとっての授業に対する満足感、授業方法について数値化し、授業担当者にフィードバックし周知している。アンケート結果[0406b][0406c]は、研究科長、各専攻主任に回覧し、内容を点検している。また、不定期ではあるが教育課程（大学院方針・運営等）の内容、方法についての打ち合わせを行っている。 |

| | |
|---|---------------------------------------|
| 0407 学生が少数であるため、各専攻主任が学生に直接面談し、希望を聞く体制をとっている。 | |
| 長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0406 | アンケート内容[0406a]は、学生の生の声が聞ける内容になっていること。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0406 | 卒業生、就職先への意見聴取の体制を構築すること。 |
| 項目 No. 0407 | 教育課程および内容、方法の適切性についての定期的会議の開催。 |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| | |
|--|---|
| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない | |
| 0406 | 授業評価表によるアンケート[0406a]の継続的实施。 |
| 0407 | 教育課程および内容、方法の適切性についての定期的会議の開催は実施できていない。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） |
|--------|---|
| 0406 | 大学院同窓会を通じての意見聴取の実施 |
| 0407 | 教育課程および内容、方法の適切性についての主任会議での検討、報告の実施の定例化 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|--------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0406 | a | 経営情報学研究科 授業評価表 | A |
| 0406 | b | 2017年度 経営情報学研究科アンケート集計結果 | B |
| 0406 | c | 2018年度 経営情報学研究科アンケート集計結果 | B |
| 0406 | d | 大学院運営方針の打ち合わせ（森岡案） | A |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究科 |
|--------|----------|

基準5 学生の受け入れ

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|---|--|------|
| 0501 | 入学者受入れの方針(AP) を定めて、公表していますか。 | (1) 卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。 | A |
| | | (2) 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とホームページ等の媒体間の記述の統一 | A |
| | | (3) 社会に対し公表していますか。 | A |
| | | (4) 下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP) の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法 | A |
| 0502 | 入学者受入れの方針(AP) に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。 | (1) 入学者受入れの方針(AP) と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合 | A |
| | | (2) 入学者受入れの方針(AP) に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置 | A |
| | | (3) 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。 | A |
| | | (4) 公正な入学者選抜を実施していますか。 | A |
| | | (5) 入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。 | A |

| | | | |
|------|---|--|---|
| 0503 | 適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。 | (1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。 【学士課程】 ・ 入学定員に対する入学者数比率 ・ 編入学定員に対する編入学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 【修士課程、博士課程】 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 | A |
| 0504 | 学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。 | (1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。 ・ 学部内委員会等において根拠資料に基づいた定期的な検証 | A |
| | | (2) 自己点検・評価結果に基づいた改善・向上を行っていますか。 ・ 年度重点目標の設定 | B |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|--|---|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 0501 | 入試要項とホームページ等の媒体間の記述は、各専攻主任が確認している。また、DP・CP・APは大学ホームページ[0501a][0501b]で公開している。 |
| 0502 | 入学試験は、一般試験、社会人試験、留学生試験[0502a][0502b]に分けており、APに基づいた試験を課している。入試体制について年度初めに入試の役割分担表[0502c][0502d]を研究科委員会で公表し、配布している。 |
| 0503 | 入学定員は満たしていないが、適切に管理している。 |
| 0504 | 学生募集については、不定期ではあるが方針[0504a]を決め、実行している。 |
| 長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0504 | 学生募集については、同窓会組織に協力を依頼している。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0504 | 学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについては、不定期で実施しているが、定期的に検証を行う体制を構築する |
| 項目 No. | |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| |
|--|
| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない |
| 0504 入学者確保のための学生募集戦略[0504a]の策定と実施。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む) |
|--------|---|
| 0504 | 学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて定期的に検証を行う。 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|---|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0501 | a | 3つのポリシー 大学院経営情報学研究科 経営情報学専攻 大学HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_graduate_information_science/ | A |
| 0501 | b | 3つのポリシー 大学院経営情報学研究科 経営学専攻 大学HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_graduate_management/ | A |
| 0502 | a | 2018年度大学院入学試験要項 (当該箇所: pp. 20-23) | A |
| 0502 | b | 2019年度大学院入学試験要項 (当該箇所: pp. 20-23) | A |
| 0502 | c | 2018年度大学院経営情報学研究科試験役割分担について | A |
| 0502 | d | 2019年度大学院経営情報学研究科試験役割分担について | A |
| 0504 | a | 大学院経営学専攻 学生募集戦略(担当: 森岡) | A |

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究科 |
|--------|----------|

基準 6 教員・教員組織

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|--|--|------|
| 0602 | 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。 | (1) 大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。 | C |
| | | (2) 教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置 | B |
| | | (3) 学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。 | — |
| 0603 | 教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。 | (1) 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続き の設定 | B |
| | | (2) 規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。 | B |
| 0604 | ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上および教員組織の改善・向上につなげていますか。 | (1) FD活動を組織的に実施していますか。 | C |
| | | (2) 点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定 | C |
| 0605 | 教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもと | (1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。 | D |

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| | に改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。 | (2)自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定 | D |
|--|-------------------------|---|---|

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|--|---|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 0602 | 研究科担当教員の資格[0602a]に対しては、大学院研究指導の資格審査委員会を設置して審議し、その結果を研究科委員会に諮って審議している。 |
| 0603 | 教員の募集・採用・昇格等に関する規定は、整備されていないが、研究科の管理運営に関する重要事項として主任会議[0603a]で審議されている。 |
| 0604 | F D活動は組織的には行っていない。 |
| 0605 | 教員組織の適切性については、教員の欠員が生じた場合にその都度対応しており、定期的な点検・評価は行っていない。 |
| 長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0602 | 教員負担を平準化するため学部の担当授業数を配慮し、大学院の担当科目を配置している。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0602 | 教員の授業担当負担の適切な配慮として隔年開講を実施する。 |
| 項目 No. 0602・0605 | 退職による欠員の発生に対して、適切な教員組織の編成を維持する必要がある。 |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| | |
|--|-------------------------------------|
| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない | |
| 0602 | 退職による欠員者が生じる場合は、非常勤で継続的に対応処置をとっている。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） | |
|--------|-------------------------------------|--|
| 0602 | 教員組織の適切性を保つため、新規採用者の採用体制ルール作りを実施する。 | |
| 0604 | 大学院担当教員の組織的なF D活動の実施を、定期的に関行する。 | |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0602 | a | 教員資格および大学院担当資格基準 | B |
| 0603 | a | 主任会議の位置づけについて | A |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究所 |
|--------|----------|

| | |
|------|------|
| 基準 7 | 学生支援 |
|------|------|

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|---|---|------|
| 0702 | 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。 | (2) 学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応 | A |
| | | (4) 学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的（安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等）の支援 | B |
| | | (5) 学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生のキャリア支援を行うための体制（学部との協力・連携を含む）の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施 | B |
| | | (6) インターンシップは十分に実施していますか。 | A |
| | | (8) 学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化 | A |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|---|--|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 0702 学生数が少なく、支援、指導は指導教授のみで充足している。最終講義終了後、懇親会という形で学生から講義に対する希望や要望をヒアリングしている。就職指導に関しては、専攻主任がキャリア部長[0702a]、インターンシップ推進委員会[0702b]に指名されており、キャリア支援課から報告される進路状況表を教授会資料[0702c][0702d]として教員全体で共有した。 | |
| 長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0702 | 副指導教授を2名配置し、複数の教員で指導する体制をとっていることは非常に有効である。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0702 | できるだけ早く内定を得られるようキャリア支援を充実させる。 |
| 項目 No. | |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| | |
|--|---------------------------|
| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない | |
| 0702 | 学修に関する支援は、主指導教授を中心に行っている。 |

<今後の改善・向上計画>

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） |
| 0702 | 担当教授だけでなく、複数の教員で指導できる体制を今以上に構築する。 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|---------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0702 | a | 2017 年度経営情報学部主な役職 | A |
| 0702 | b | 2018 年度経営情報学部 学内委員一覧 | A |
| 0702 | c | 2017年度第10回経営情報学部教授会議事録 | A |
| 0702 | d | 2018 年度第 10 回経営情報学部教授会議事録 | A |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究科 |
|--------|----------|

基準 8 教育研究等環境

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|--|---|------|
| 0802 | 教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。 | (1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。 | A |
| 0806 | 教育研究等環境の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。 | (1)適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。 | A |
| | | (2)自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定 | A |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|---|--------------------------------------|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 0802 院生室・講義室などの整備状況について、特段の問題は見受けられなかった。必要な図書等については、院生費[0802a][0802b]により購入することができる。 | |
| 長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0802 | 院生費が支給されており、研究に必要な図書・備品等を購入することができる。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0802 | 院生室の土曜日、日曜日の利用を可能にする。 |
| 項目 No. | |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| | |
|------------|--|
| 対象年度における取組 | *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない |
| 0806 | 経営学専攻の学生は土曜日、日曜日に鶴舞キャンパスに入室できないため、春日井キャンパスで利用できるように入館登録[0806a]をした。また、春日井キャンパスの院生室のパソコン[0806b]も最新のものに入れ替えた。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） |
|--------|--|
| 0802 | 研究等のスペースをより効率的に、学生・教員双方にとって便利となるよう、検討する。 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|----------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0802 | a | 2017 年度院生費の手引き | A |
| 0802 | b | 2018 年度院生費の手引き | A |
| 0806 | a | 入館許可願い | B |
| 0806 | b | 物品調達依頼書 | B |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究科 |
|--------|----------|

基準 9 社会連携・社会貢献

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|--|--|------|
| 0902 | 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。 | (2) 社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。 | A |
| | | (3) 地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。 | A |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|--|---|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 0902 大学院学生募集の役割を担う、VMS（ベンチャー・マネジメント・スクール）センター[0902a]で、2018年11月7日、12月20日の2回、大学院講師による公開講演会を開催した。 | |
| 長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 0902 | 専攻主任、担当教員は、自身の専門性を活かし、近隣の地方自治体、商工会議所の委員会等に委員として参加し、委員会の委員長、会長、アドバイザー等を務めた。また、講演等を実施し、積極的に社会貢献に取り組んだ[0902b]。 |
| 課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 0902 | 社会連携・社会貢献を推進している本部担当組織との緊密な連携体制の構築。 |
| 項目 No. | |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

| | |
|--|---|
| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない | |
| 0902 | VMS（ベンチャー・マネジメント・スクール）センターを発展的に廃止し、研究科がその機能を継承することになった。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） |
|--------|-----------------------|
| 0902 | 担当教員による社会貢献の取り組みの推進 |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|---|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0902 | a | VMSセンター講演会パンフレット | A |
| 0902 | b | 教育・研究活動に関する実態資料（別冊）2017（平成 29 年度）（該当箇所： p. 93-94） | B |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

| | |
|--------|----------|
| 自己評価組織 | 経営情報学研究科 |
|--------|----------|

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

| 項目 No. | 自己点検・評価項目 | 自己点検・評価の視点 | 自己評価 |
|--------|--|---|------|
| 1120 | 管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。 | (2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。 | A |

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

| | |
|---|---|
| 現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。 | |
| 1120 管理運営組織および教育研究組織は、主任会議において事前協議・承認を得た上で研究科委員会に報告 [1120a] [1120 b] している。また、会議の通知はメールにより事前に通知し、議事録は議長の承認を得て本部、および各教員へ提出している。 | |
| 長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの | |
| 項目 No. 1120 | 報告事項・審議事項は研究科委員会に先立ち、事前に主任会議で検討し、ダブルチェック体制実施している。 |
| 項目 No. | |
| 課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点 | |
| 項目 No. 1120 | 研究科委員会議事録の内容の確認体制の構築 |
| 項目 No. | |

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

| | |
|--|--------------------|
| 対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない | |
| 1120 | 議事録の内容確認のための会議の設定。 |

<今後の改善・向上計画>

| 項目 No. | 課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む） |
|--------|-----------------------|
| 1120 | 諸委員会規定の整備を実施する |

4. 根拠資料

| 根拠資料 No. | | 根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|--------------------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 1120 | a | 2017 年度第 1 回～第 13 回経営情報学研究科研究科委員会議事録 | A |
| 1120 | b | 2018 年度第 1 回～第 12 回経営情報学研究科研究科委員会議事録 | A |

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管